

研究へのご協力をお願い

東京歯科大学倫理審査委員会が審査を行って承認した下記の研究について、研究の対象者に該当する可能性があつて、診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、ご協力いただけなくても患者様に不利益は生じません。また、ご協力いただきましても謝礼はございません。

研究課題名	舌扁平上皮癌における若年患者と高齢患者を対象とした細胞老化および老化関連分泌表現型 の比較解析
研究責任者	口腔科学研究センター 溝口 利英
本研究の目的と意義	舌扁平上皮癌は若年者および高齢者のいずれにも発症しますが、年齢による腫瘍の生物学的特性や予後の違いについては十分に解明されていません。そこで本研究では、過去の診療情報および病理組織を用いて、年齢層間における細胞老化関連因子の違いを検討し、今後の診断や治療戦略の発展に寄与することを目的としています。
研究の対象となる患者様	2017年1月から2025年12月までの間に、東京歯科大学(現国際医療福祉大学)市川総合病院口腔がんセンターにおいて舌扁平上皮癌と診断され、手術を受けた患者様が対象となります。予定症例数；50歳未満：30例 50歳以上:30例
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">対象となる患者様の診療記録（カルテ）を参照します。年齢、TNM分類、手術術式、再発の有無などの臨床情報を収集します。過去に採取され、当院臨床検査科に保存されている病理組織検体を用いて、病理組織学的評価および細胞老化および老化関連分泌表現型 関連マーカーの免疫組織科学的解析を行います。既存の資料や情報を用いる研究、新たな検体採取や侵襲的な医療行為は行いません。
個人情報の取り扱い	患者様個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日は削除して、研究用の番号に変えて取り扱いをします（仮名加工情報といいます）。なお、患者様個人を特定できる診察券番号、氏名、生年月日と研究用の番号を照合するための対照表を別に作成して、施錠可能な場所で厳重に保管します。
研究データの保管	研究データはパスワードを設定した電子媒体で院内の施錠可能な場所に保管し、研究終了後、規定の期間保管したのち適切に廃棄します(2026年5月19日～2029年04月01日；研究でを使用した試料は5年間、研究で得られたデータは10年間)。
企業などとの関係	本研究に関して、企業や営利団体との利益相反関係はありません。
お問い合わせ先	本研究への協力を希望されない場合、または研究内容について詳しく知りたい場合は、下記までご連絡ください。 口腔科学研究センター 溝口 利英 電話：03-6380-9114